

1 歴史的仮名遣い／竹取物語

名前

年組番

100点

1 「歴史的仮名遣い」 次の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

5点×9

- ① あはれ ()
- ② くちをし ()
- ③ まうす(申す) ()
- ④ おほかた ()
- ⑤ いみじう ()
- ⑥ けふ(今日) ()
- ⑦ せむかたなし ()
- ⑧ こゑ(声) ()
- ⑨ にほひ ()

2 次の古文を読み、あとの問いに答えなさい。

5点×11

今は昔、竹取の翁といふものありけり。
 野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いと うつくしうて ゐたり。

〔「竹取物語」より〕

(1) 「歴史的仮名遣い」——線A「いふ」、イ「よろづ」、ウ「使ひ」、エ「なむ」、オ「ゐたり」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

- ア () イ ()
- ウ () エ ()
- オ ()

(2) 「古語の意味」——線①「あやしがりて」、②「いと」、③「うつくしうて」の意味を書きなさい。

- ① ()
- ② ()
- ③ ()

(3) 「動作の主体」——線A「寄りて見るに」はだれの動作ですか。古文中の漢字一字で書きなさい。

(4) 「助詞の省略」——線B「筒の中光りたり」を現代語訳するとき、「筒の中」と「光りたり」の間に補う助詞を一つ書きなさい。

筒の中 □ 光っていた

(5) 「文学史」 竹取物語が成立した時代を書きなさい。

() 時代

1 歴史的仮名遣い／竹取物語

名前

年組番

100点

1 「歴史的仮名遣い」 次の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

5点×9

- ① あはれ (あわれ)
 ② くちをし (くちおし)
 ③ まうす (申す) (もうす)
 ④ おほかた (おおかた)
 ⑤ いみじう (いみじゅう)
 ⑥ けふ (今日) (きょう)
 ⑦ せむかたなし (せんかたなし)
 ⑧ こゑ (声) (こえ)
 ⑨ にほひ (におい)

2 次の古文を読み、あとの問いに答えなさい。

5点×11

今は昔、竹取の翁^{おきな}といふものありけり。
 野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使^{つか}ひけり。名をば、さぬきの造^{みなづこ}となむいひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ一筋^{ひとすぢ}ありける。あやしがりて、寄^Aりて見るに、筒^Bの中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いと うつくしうて ゐたり。

〔「竹取物語」より〕

(1) 「歴史的仮名遣い」——線A「いふ」、イ「よろづ」、ウ「使ひ」、エ「なむ」、オ「ゐたり」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

- A (いう) イ (よろず)
 ウ (つかい) エ (なん)
 オ (いたり)

(2) 「古語の意味」——線①「あやしがりて」、②「いと」、③「うつくしうて」の意味を書きなさい。

- ① (例) 不思議に思つて
 ② (例) たいそう・とても
 ③ (例) かわいらしい様子で

(3) 「動作の主体」——線A「寄りて見るに」はだれの動作ですか。古文中の漢字一字で書きなさい。

翁

(4) 「助詞の省略」——線B「筒の中光りたり」を現代語訳するとき、「筒の中」と「光りたり」の間に補う助詞を一つ書きなさい。

筒の中 □ 光っていた

が

(5) 「文学史」 竹取物語が成立した時代を書きなさい。

(平安) 時代

1 部首／行書

名前

年組番

100点

【部首】 A群とB群からそれぞれ一つずつを組み合わせることができる漢字を、四つ書きなさい。

A群（部首）

B群

4点×4

 之 金 イ
 厂 イ 頁

 予 刀 失
 直 占 央

【部首】 次の漢字の部首名をア～カから選び、それぞれ記号で答えなさい。

4点×4

① 裸

② 快

③ 畑

④ 利

ア ひへん

イ リっとう

ウ リっしんべん

エ のぎへん

オ た

カ ころもへん

【部首】 次の漢字の部首名をひらがなで書きなさい。

4点×4

① 紙

② 写

③ 床

④ 投

【部首】 次の部首の漢字を□から選んで書きなさい。

4点×4

① にくづき

② つきへん

③ こぎとへん

④ おおぎと

明 防 服 眠 部 腹

【部首】 次の漢字の部首をそれぞれア～ウから選び、記号で答えなさい。

4点×4

① 放

イ 方

② 突

ウ 大

③ 視

ウ ル

④ 蒸

ウ 𠂔

【行書】 次の各問いに答えなさい。

(1) 「桃」を行書で書いたものを次から選び、記号で答えなさい。

4点

ア 挑

イ 桃

ウ 跳

(2) 「祝」と同じ部首をもつ漢字を次の行書の漢字から選び、記号で答えなさい。

4点

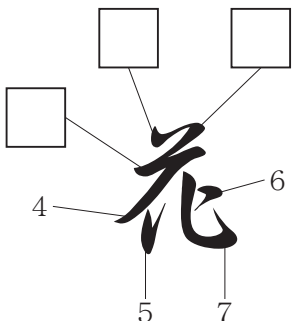
ア 複

イ 秋

ウ 祖

(3) 「花」を行書で書く場合の1～3画目の筆順を、□に書きなさい。

完答 4点



(4) 次の行書を楷書で書いたときの総画数を、漢数字で書きなさい。

4点×2

ア 福

イ 組

画

1 部首／行書

名前

年組番

100点

【部首】 A群とB群からそれぞれ一つずつを組み合わせることができる漢字を、四つ書きなさい。

A群（部首）

B群

4点×4

亻 金 イ 頁
厶 厂

予 刀 失
直 占 央

辺 鉄 預 値

【部首】 次の漢字の部首名をア～カから選び、それぞれ記号で答えなさい。

4点×4

① 裸（カ） ② 快（ウ）

③ 畑（オ） ④ 利（イ）

ア ひへん

イ リつとう

ウ リっしんべん

エ のぎへん

オ た

カ ころもへん

【部首】 次の漢字の部首名をひらがなで書きなさい。

4点×4

① 紙（いとへん） ② 写（わかんむり）

③ 床（まだれ） ④ 投（てへん）

【部首】 次の部首の漢字を□から選んで書きなさい。

4点×4

① にくづき（腹） ② つきへん（服）

③ こぎとへん（防） ④ おおぎと（部）

明 防 服 眠 部 腹

【部首】 次の漢字の部首をそれぞれア～ウから選び、記号で答えなさい。

4点×4

① 放「ア」 イ方 ウ文（ウ）

② 突「ア」 イ穴 ウ大（イ）

③ 視「ア」 イ見 ウル（イ）

④ 蒸「ア」 イ了 ウ灬（ア）

【行書】 次の各問いに答えなさい。

(1) 「桃」を行書で書いたものを次から選び、記号で答えなさい。

4点

ア 挑 イ 桃 ウ 跳 エ 眺（イ）

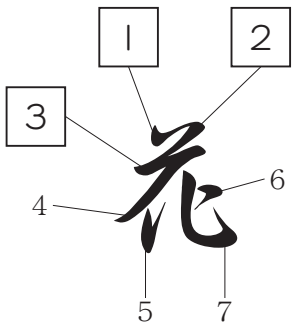
(2) 「祝」と同じ部首をもつ漢字を次の行書の漢字から選び、記号で答えなさい。

4点

ア 複 イ 秋 ウ 祖 エ 梓（ウ）

(3) 「花」を行書で書く場合の1～3画目の筆順を、□に書きなさい。

完答 4点



(4) 次の行書を楷書で書いたときの総画数を、漢数字で書きなさい。

4点×2

ア 福（十三）画 イ 組（十一）画

1 言葉の単位

名前

年組番

100点

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

7点×5

現役を引退した後の私の最大の喜びは、家の周囲に広がる美しい森の間を歩くことであつた。

そこには多くの植物はもちろん、小動物も見られ、さびしい日々を送る私の心をなぐさめてくれたものだった。

私は足を運びながら、これまでの人生を振り返る。いろいろな思いがあるものの、こんな美しい自然の中を今歩けるのだから、それほど悪い人生ではなかったと思えるのだった。

(1) 【段落】 この文章の段落の数を、漢数字で書きなさい。

(2) 【文】 この文章の文の数を、漢数字で書きなさい。

(3) 【文節】 — 線①を文節に正しく分けたものを、次から一つ選びなさい。

ア 美しい／森の間を／歩く

イ 美しい／森の／間を／歩く

ウ 美しい／森の／間／を／歩く

エ 美しい／森／の／間／を／歩く

(4) 【単語】 — 線②、③を単語に正しく分けたものを、次から一つ選びなさい。

ア 人生を／振り返る

イ 人生を／振り返り／返る

ウ 人生／を／振り返る

エ 人生／を／振り返り／返る

2

【文節】 次の文を、例にならって、／で文節に分けなさい。

7点×5

例 空に／大きな／月が／かかる。

③

ア 悪い／人生では／なかった
イ 悪い／人生／では／なかった
ウ 悪い／人生／では／なかつ／た
エ 悪い／人生／で／は／なかつ／た

① 兄は数学がととても得意だ。

② 美しい夕日が空を染めた。

③ 君が意見を言う必要はない。

④ どうして彼は来ないのだろう。

⑤ 外国の人と話してみたい。

3

【単語】 次の文の単語の数を、漢数字で書きなさい。

6点×5

① 妹が姉を追いまわす。

② 明日は晴れると思います。

③ 意外な手紙が友達から来た。

④ その荷物を取ってください。

⑤ こういう話を一度したかった。

1 言葉の単位

名前

年組番

100点

解答

1 (1) 三

(2) 四

(3) イ

(4) ウ

③ エ

2 ① 兄は／数学が／とても／得意だ。

② 美しい／夕日が／空を／染めた。

③ 君が／意見を／言う／必要は／ない。

④ どうして／彼は／来ないのだろう。

⑤ 外国の／人と／話して／みたい。

3 ① 五

② 六

③ 七

④ 七

⑤ 八

解説

1 (1) 段落とは、行を改めて書き出した文章のまとまり。最初の行は一字下げて書く。

(2) 文は、句点(。)などによって区切られる。

(3) 文節は、「ネ・サ」を入れて区切ることができるところを考える。

(4) ② 「振り返る」は一つの動作を意味する動詞なので、一単語である。

③ 「ではなかった」は、「でなかった」と「は」を外しても文意が同じなので、「は」が一つの助詞だとわかる。

2 文節は、「ネ・サ」を入れて区切ることができるところを考える。

③ 「ない」は、直前に助詞「は」があることから、形容詞として別の文節になる。

④ 「来ないのだろう」で一文節である。

⑤ 「話してみたい」は、補助の関係の二文節である。

3 単語分けは、文節に分け、さらにひとつの意味を示すまとまりに分けて考える。

① 妹／が／姉／を／追いまわす。

② 明日／は／晴れる／と／思い／ます。

③ 意外な／手紙／が／友達／から／来／た。

④ そこ／の／荷物／を／取っ／て／ください。

⑤ こう／いう／話／を／一度／し／たかっ／た。

1

基礎編

楷書

字形の整え方1

全体を整えて書く

◀ 最初の画を中心に

◀ 途中の画を中心に

◀ 中心の目安となる画がない字

年

組

番

名前

あてはまる方に色をぬろう

できた あと少し

① 中心をそろえて書く

平 当 水 夫 南 子 弓 気 司

文字の中心にはねる位置がある

② 外形を整えて書く

正方形

円

開

困

縦長

月

買

糸

横長

心

士

四

三角形

人

走

点

逆三角形

万

寸

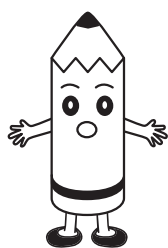
下

円形

冬

手

寺



文字の中心を見定めてから書き始め、文字のおおよその形を意識して書く。

■ 第1回テスト ■ 「花曇りの向こう(1)」 ほか

組番名前
／得点
点

◆「読み」 次の——線の部分をひらがなで書きなさい。「各5点」 25点

- ① 花曇りの空。
- ② 厄介な問題だ。
- ③ 歓声が起こる。
- ④ ボールが転がる。
- ⑤ 眼鏡をかける。

●「書き」次の——線の部分を漢字に直して書きなさい。送りがなも書くこと。

※答え合わせをして、間違った漢字があれば、下の欄に正しく書こう。

「各5点＝75点」

- ① みそしるを飲む。
- ② おなかをおさえる。
- ③ ボクは答える。
- ④ 父さんのテンキン。
- ⑤ 転校になれる。
- ⑥ イガイと天気が悪い。
- ⑦ 気持ちをおさえる。
- ⑧ あたりを見回す。
- ⑨ するりとぬけ落ちる。
- ⑩ おカシを食べる。
- ⑪ 何人かでもり上がる。
- ⑫ ヨウチエンの子供。
- ⑬ たなにもどす。
- ⑭ おれもそう思う。
- ⑮ 後ろをふり返る。

--	--	--	--	--

[illegible][illegible]

■ 第1回テスト ■ 「花曇りの向こう(1)」 ほか

組番名前
／得点
点

◆「読み」 次の——線の部分をひらがなで書きなさい。「各5点」 25点

- ① 花曇りの空。
- ② 厄介な問題だ。
- ③ 歓声が起こる。
- ④ ボールが転がる。
- ⑤ 眼鏡をかける。

はなぐも	やっかい	かんせい	ころ	めがね
------	------	------	----	-----

●「書き」次の——線の部分を漢字に直して書きなさい。送りがなも書くこと。

※答え合わせをして、間違った漢字があれば、下の欄に正しく書こう。

「各5点＝75点」

- ① みそしるを飲む。
- ② おなかをおさえる。
- ③ ボクは答える。
- ④ 父さんのテンキン。
- ⑤ 転校になれる。
- ⑥ イガイと天気が悪い。
- ⑦ 気持ちをおさえる。
- ⑧ あたりを見回す。
- ⑨ するりとぬけ落ちる。
- ⑩ おカシを食べる。
- ⑪ 何人かでもり上がる。
- ⑫ ヨウチエンの子供。
- ⑬ たなにもどす。
- ⑭ おれもそう思う。
- ⑮ 後ろをふり返る。

汁	押さえる	僕	転勤	慣れる	意外	抑える	辺り	抜け	菓子	盛り	幼稚園	棚	俺	振り
---	------	---	----	-----	----	-----	----	----	----	----	-----	---	---	----

[illegible]



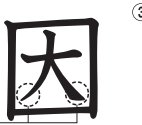
「花曇りの向こう」(1) (教 P. 26 ~ P. 28)

新出漢字練習シート

01 光 1 年 () 年 () 組 () 番 名前 ()

〔読み〕

⑥ 介 はかい	⑤ 厄 はねる	④ 僕 ×並	③ 押 ×申	② 汁	① 曇 止める
カイ	ヤク	ボク	(オウ) おす おさえる	ジユウ しる	ドン くもる
ノハ介介 厄介なことになる。	一戸厄 厄年に病気になる。	僕僕僕 僕が話す。	おなかを押さえる。 一寸お押 押	みそ汁を飲む。 、シシ汁	花曇りの空。 曇る曇る
介在	厄介	公僕	押さえる	みそ汁	曇る
介在	厄介	公僕	押さえる	みそ汁	曇る
かいがい	やつかい	こうぼく	おさえる	みそしる	くもる

11  はらう 応 こた 応 え 応 る	9  出ない 液 えき 液 状 液 じよう	7  ×易 易 や 易 い 易 し	5  「シ」ではない 下を大きく書く 営 えい 営 む 営 業	3  はらう 因 よう 因 いん 因 いん	1  はらう 圧 あつ 圧 り 圧 よく
12  「イ」と まがえない 往 おう 往 く 往 来	10  忘れない 演 えん 演 ぎ 演 えん	8  「シ」ではない 益 えき 益 ち 益 よう	6  はねる 突き出す 衛 えい 衛 せい 衛 星	4  「シ」ではない はねる 永 なが 永 えい 永 えん	2  止める はらう 移 うつ 移 る 移 どう